



茶内小だより

茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

平成最後の学芸会を終えて

～自己肯定感を高める～

校長 佐野 万由里

10月21日(日)の学芸会・校内作品展には、ご来賓の皆様や保護者、地域の皆様に早朝よりご来校いただきありがとうございました。また、子どもたちの発表に対し温かいご声援・拍手をいただきましたことに感謝申し上げます。

「平成最後の学芸会をお客さんと一緒に全力で楽しもう」のスローガンのもと、各学年の発達段階に応じた素晴らしい発表でした。

1年生の「ヤングマンはUSA!」では、初めての学芸会でしたが、音楽に合わせて元気いっぱいダンスを披露し、トップバッターとして、会場全体を楽しい雰囲気にしてくれました。2年生の劇「どんな色がすてき?」では、観ている人に伝わるように一人一人が絵の具になりきり、大きな声と大きな動作で立派に演技をすることができました。「どの色もみんな大切、そしてクラスのどの子もみんな大切」という気持ちが伝わりました。3年生の「キミの夢は、ボクの夢。」では、間違わないようにみんなの気持ちを一つにした人文字の表現とCMでもお馴染みの曲のリズムによって、かっこいいダンスを発表しました。4年生の劇「茶内落語劇場」では、国語で学習した落語「ぞろぞろ」での学びを生かし劇として発表しました。子どもたちは、落語の特徴でもあるリズム・スピード・間・仕草などを見事に表現しました。登場人物と子どもたちの役もピッタリ、とてもわかりやすい内容で会場を楽しませてくれました。5年生の「いまわたしたちにできること」では、音楽の学習で練習してきたことや総合学習で「浜中町」について学習した成果が表れていました。子どもたち一人一人が浜中町のことを思い、浜中町の未来を支えてくれる存在になって欲しいと思いました。6年生の劇「ひみつの気持ち銀行」では、本校の子どもを目指す姿の一つである「思いやり」の大切さや最後の学芸会に対する子どもたちの熱い気持ちが伝わってきました。表現することの喜び、やり遂げた喜び、保護者の方や家族の人たちに見ていただく喜び、そんなたくさんの思いが、すてきな発表となり、小学校生活最後の学芸会が6年生にとって、素晴らしい思い出となったことでしょう。

学校行事である「学芸会」の取り組みの中で、私たち教員が大切にしていることは、子どもたちの活動を認め、誉め、共感し、時には適切な注意をすることで、子どもたち自身が「自分は大切な存在として認められている」という自覚を持たせることです。「安心感」と「自己肯定感」を授けられた子どもは、様々な困難にぶつかっても、方法を模索しながら、自分の人生を切り拓いていきます。自分の力で「できた」という実感を持ち、成功体験を多く積んでいくことは、「自己肯定感」を生み、その後の意欲を引き出していきます。自分を信じ、自分が進んでいる道を肯定できれば、様々なことに挑戦したり、何事にも積極的に取り組んだりすることができます。

勿論、行事だけではなく日々の学習や生活など様々な場面において、子どもたちの自己肯定感を高めるよう取り組んでいきます。ご家庭におかれましても、子どもたちの頑張った姿に是非、励ましと賞賛の言葉掛けをお願い致します。



思いやりのある子

～道徳科の授業を通して～

明るく、素直で、元気ある茶内小の子ども達ですが、よりよい生活ができるようにするために今年度から、学校教育目標の一つである

「思いやりのある子」に着目して、道徳科の授業の充実を教職員全員で取り組んでいます。保護者の皆さまには、道徳ノートの購入や参観日における道徳科の授業参観等、たくさんのご支援・ご協力に感謝しております。

さて、24日(水)のことですが、教育委員会の先生をお招きし、全学年で道徳科の授業公開をしました。午後からは、授業における子ども様子やよりよい授業づくりについての情報交流等を行いました。

道徳科は、主に「人としての生き方」を学ぶ学習です。本校では、重点が『思いやり』ですので、授業の中では、相手の気持ちを考えて自分の行動の仕方を考えていく必要があります。6年生では、何でも話することができる学級風土、一人一人が意見を持ち、友達の考えを受け入れ、さらに自分なりの考えをもつ姿が見られました。今後は、全校児童が自分なりの考えをもち、テーマに基づいてたくさん話し合う姿がより増えていくよう教職員一同、努力して参ります。



家庭学習週間(10/29～11/3)

家庭学習は、家庭における学習習慣の習慣化を目的としています。学習を振り返り、次の日の学習に臨むための「宿題」「自主学習」をすすめていくことは、学力の定着と向上には重要です。

そこで、毎日の宿題の内容や家庭学習の取り組みの様子をご確認いただき、お子様の学び方をお家の方にも知っていただきたいと思っております。最終日には、調査票にお子様向けの「はげましの言葉」の記入にご協力いただきますようお願い申し上げます。

許可証所有者
専用駐車場

児童玄関横の花壇があったスペースに3台分の「専用駐車場」を設置します。特別な配慮を要する児童の保護者が利用することを目的としています。設置が完了しましたら、あらためて保護者の皆さまにお知らせいたします。

11月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	木	安全点検 職業体験(茶中)
2	金	クラブ 職業体験(茶中) 漢字検定
3	土	祝 文化の日
4	日	浜P連研究大会(標茶大会)
5	月	PTA第5回役員会
6	火	生活ふり返しシート配付(～8日)
7	水	みんなの広場(環境委員会) 三町合同学習交流会
8	木	午前授業(2年生以外) 授業公開(2年生)
9	金	クラブ 生活ふり返しシート回収
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	生活習慣調査
15	木	湿原学習(6年) たてわり班清掃 コミュニティースクール説明会
16	金	児童委員会 PTAミニバレーボール大会 保護者アンケート配付
17	土	浜中運輸主催ミニバレーボール大会
18	日	浜P連研究大会
19	月	
20	火	
21	水	茶内リンク管理運営の会総会
22	木	たてわり班清掃 放課後学習
23	金	祝 勤労感謝の日
24	土	茶内第一小学校閉校記念式典
25	日	
26	月	
27	火	参観日 乗り入れ授業(6年)
28	水	
29	木	たてわり班清掃
30	金	クラブ

9時受付です。ご参集のほど、よろしくおねがいします。

11月からの帰宅時刻は
午後4時です!

地域安全活動 (茶内小学校における下校時の見守り活動)

厚岸地区防犯協会、厚岸地区地域安全活動推進委員、厚岸地区パトロール隊、厚岸警察署少年補導員連絡協議会では、厚岸警察署と連携して「子ども対象犯罪の被害防止」を目的に小学校玄関前にて下校時の見守り活動を実施しました。



みんなで覚えよう！いかのおすし！



図書スペースで 読み聞かせ

10月17日(水)に図書スペースで朝の読み聞かせが行われました。1・2年生が一緒になって、松村さんと澤邊さんの紙芝居の世界に引き込まれていきました。すぐ近くの3年生も関心があるようで、低学年の活動が気になっているようでした。少しずつ読み聞かせの活動に広がりが出てきました。低学年だけでなく、多くの子ども達に物語りの世界に浸ってもらいたいです。読み聞かせボランティアとしてご協力いただける方は、学校までご連絡ください。

読み聞かせ
ボランティア
大募集！

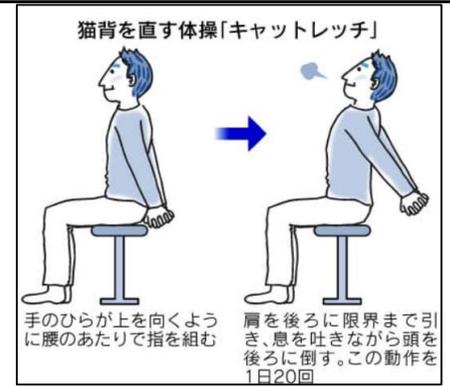
週1回
1・2年生で読み
聞かせを
しています。

11/15 コミュニティースクール説明会

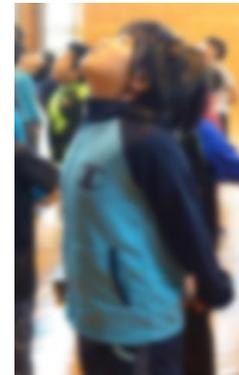
「地域とともにある学校づくり」のために、来年度からコミュニティースクールが導入されます。次の日程で説明会を開催しますので、興味のある方はぜひご出席ください。

11月15日(木) 19:30～ コミセン

正しい姿勢で ていねいに文字 をかきましょう



「正しい姿勢で」



「正しい持ち方で」



「キヤットレッチで猫背退治」について、みんなの広場で話をしました。背骨の丸まりの頂点がどこにあるかで次のように分類されます。

- ・首猫背 ~ 頭が前に突き出たように見える
- ・背中猫背 ~ 背中が丸まっている
- ・腰猫背 ~ 腰が丸まっている
- ・お腹猫背 ~ お腹が前に突き出ている

これら4つの猫背は、座ったときになりやすいのです。自分では楽な猫背姿勢ですが、体に大きな負担になっています。悪い姿勢で一部の筋肉が凝り固まって、肩こりや腰痛になりやすくなります。また、内臓や気持ちの不調にもつながっていくのです。そこで、背中を丸める癖を抜くストレッチを児童全員で試してみました。いい姿勢が窮屈に感じた子が高学年で多かったようです。

鉛筆の持ち方も正しい姿勢づくりに含めていきます。鉛筆を正しく持つことができないと次のデメリットがあると言われています。

- ①手、腕、肩、首、目が疲れやすくなる。
- ②短時間文字を書いただけで手が疲れる。
- ③字が汚くゆがむ。
- ④姿勢が崩れる。
- ⑤視力の低下や背骨のゆがみなど深刻な症状が出る。
- ⑥勉強に集中する時間が短くなる。(疲れやすいから)
- ⑦学力の低下につながりやすくなる。

「多少間違ってもたいして問題ない！」と思ったら、お子さんにとっていつの間にか不利益が！ということになります。小学生のうちに鉛筆の持ち方は直しておきたいですね。

11月の重点! 継続! 「メディアにふれるのは2時間まで」

メディアに触れる時間や家庭学習の時間の設定など、基本的な生活リズムが良くなってきているようです。各家庭でお子さんとお話し合い、意識的に進めてくださっていることの表れです。ありがとうございます。

※メディアとは、テレビ、タブレット、スマホ、ゲーム機など電子機器全般です。

